

# SATOKO SHIBATA interview

イトケン（ドラムス）、かわいしのぶ（ベース）、岡田拓郎（ギター）、ラミ子（コーラス）らと『柴田聰子inFIRE』として精力的なライヴ活動を続けてきた柴田聰子。彼女から待望のニュー・アルバム『がんばれ！メロディー』が届けられた。ひさびさのセルフ・プロデュースで挑んだ本作はタイトルどおりポップで、過去最高にグルーヴィーかつパワフル。シンガーとしてもソングライターとしても大きな飛躍を遂げた柴田に、「未来ノ和モノ」というテーマの質問に答えてもらった。

—— 未来や世界のリスナー／ユーザーに向けた本作の聴きどころは？

収められている演奏や音があつたかいです。あとは、それぞれ楽器を弾いたり叩いたり声を出したり、どの音も歌っている感じがあるので、そういうところが聴こえてくれたらうれしいです。

—— 今後の日本の音楽シーンや世界のシーンの展望について教えてください。

時代の流れや、シーンのことを考えてはみるのですが、結局、ある人がその時に信じているものをやりたいように思い切りやった結果だけがいつのまにかシーンを形作るのかなと思います。

—— 日本人の感性や音楽で優れていると思われる部分は？

石とか木とか土とかいろんなものに神様を感じているところです。適当でおおらかなところ。あと、ものすごくたくさんの不思議な祭りがあるのもすごいと思います。

—— そのなかで柴田さんはどう存在していきたいですか？

生きてきた中で、音楽にたくさん助けてもらったり、知らない気持ちを教えてもらったり、楽しませてくれたり、とにかく感謝しかないで、自分も音楽にたくさん恩返しをしていきたいです。

新作『がんばれ！メロディー』についての  
ロング・インタビューは [mikiki.tokyo.jp](http://mikiki.tokyo.jp) にて!  
<http://mikiki.tokyo.jp/articles/-/20740> ▶



## SATOKO's Choice



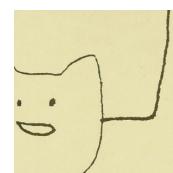
やまとすみこ  
「FLYING」



安室奈美恵  
「Finally」



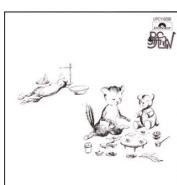
チャットモンチー  
「耳鳴り」



山本精一  
「なぞなぞ」



宇多田ヒカル  
「初恋」



RC サクセション  
「シングル・マン」



くるり  
「団鑑」



中島みゆき  
「予感」



富田耕  
「展覧会の絵」



ちあきなおみ  
「THREE HUNDREDS CLUB」

# 未来ノ和モノ JAPANESE FUTURE GROOVE

そのサウンドは、機能性を損なわずに時代を超える。  
そのサウンドは、新たな機能性を見出だされ時代を超える。

20年後、30年後、世界中の音楽ディガーに見出され、興奮し、語り継がれる日本の音楽。  
フロアを揺らす音楽。決して消費される事のない音楽。音楽はタイムマシン。  
盤は回り、そのサウンドは未来へと繋がって行く。



## 柴田聰子『がんばれ！メロディー』 3/6発売

### 超ポップ、超キャッチャーなグッドメロディーでんこ盛りのニューアルバム

2ndアルバム『いいわる全集』以来のセルフプロデュース・アルバム。最強のサウンドを從えた、超ポップ&超キャッチャーなグッドメロディーがでんこ盛り! セカンドの剥き身を晒すような生々しさが、柴田聰子という個性の中核を惜しげもなく提示した名盤だったとするなら、今作は頭の中で鳴っている音楽を余すところなくそのまま作品として昇華した柴田聰子という才能の総体を感じさせる、出し惜しみなしの1枚。

#### タワーレコードオリジナル特典

・柴田聰子『がんばれ！メロディー』別ジャケット

応募抽選付きポストカード

※柴田聰子 直筆サイン入り「未来ノ和モノ」ポスター(5名様)

## Editor's Choice

### イ・ランと柴田聰子 「ランナウェイ」



### 韓日を渡って交歓した 言葉とメロディの魔法

イ・ランと柴田聰子がランナウェイ・ツアーの翌月にイ・ランが密かに来日し、二人でレコーディングを敢行したコラボレーション音源。涙あり笑いありの旅のお土産としてだけでなく、音楽家としての二人の相性の良さ、国境を超えた言語感覚の親和性と化学反応、アプローチの違いも感じられる充実作。好評発売中

### 中村佳穂 「AINOU」



### 唯一無二の美しさを湛えた傑作

ソウル、ジャズ、フォーク、ジャンルの垣根を越えて音を紡ぎ、声を発する京都出身シンガーソングライター中村佳穂。初の全国流通盤となるセカンド・アルバム。今作はバンド編成でレコーディングされた楽曲が並び、より立体的な音の世界が広がったシーンのネクストスタンダードと成りえる内容。好評発売中

### カネコアヤノ 「祝祭」



### 1stフルアルバムは 新世代オルタナシーンの決定盤

デビュー以来のフォーキーな持ち味を、林宏敏らによるケンジ味のないバンド・サウンドで打ち消させた、インディ/オルタナシーンのブレイク最有力候補カネコアヤノ第2章 1stフルアルバム。新世代オルタナシーンの決定盤にして2018年を代表する名盤。好評発売中

### 折坂悠太 「平成」



### 宇多ヒカルも称賛する 若き吟遊詩人の傑作

多くの音楽家が称賛、ルーツ・ミュージックに新たな息吹を与え、世代もジャンルも超越した歌を響かせる平成元年生まれのアーティスト、折坂悠太。一聴して耳に残る個性あふれる独特な歌い回し、若き吟遊詩人としての才能を見せつけた傑作。好評発売中

### Kitri 「Primo」



### 聴けば必ず虜。 魅惑のピアノ連弾ユニット

奏でる音世界とシンクロしたノスタルジックな佇まいに「神秘的」な魅力を覚え感じてしまうピアノ連弾姉妹ユニットのメジャーデビュー作品。大橋トリオに見出されたその才能は、超絶技巧が織りなすピアノグルーヴに、透明な癒しの歌声がそっとリスナーに寄り添いながら響くような作品。好評発売中

### 平賀さち枝とホームカミングス 「カントリーロード／ヴィレッジ・ファーマシー」



スペシャルコラボによる新たな名曲たち  
名曲“白い光の朝”を生み出したコラボがふたたび実現。ドリーミーなメロディーに白い光の朝から続く物語を託した“カントリーロード”、瑞々しいアーノラック・サウンドの“ヴィレッジ・ファーマシー”的ほか、生々しい音像にドギリとさせられる平賀の弾き語り曲や、Homecomingsによるペイヘッドのカヴァー“Sip On A Stranger”も収めた5曲入り。好評発売中